

富士市立高等学校 学校運営協議会		第20回	会議要旨 (令和元年度)
開催日 令和 元年 9月27日 月曜日 開 会 13時15分 閉 会 15時55分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席委員 【委員】 畑 隆 一条 聖恵 長田 結衣 志田好久 畑 裕美 矢崎 進 山田 雅彦 渡邊寛子 岩田 享 池田 将章 【オブザーバー】 宇佐美壽英 花崎 武彦			
開会			
○会長あいさつ ・富士市立高校は、令和2年度に開校10年目ということで、節目を迎えることになる。現在、この10年間の検証作業が少しずつ進められているところである。 ・学校運営協議会も、少し先に進んだ時点、最終段階で必ずこの協議会として意見を求められることになる。 ・本日の授業参観、そしてまた、これから学校からの説明のある様々な報告事項は、この富士市立高等学校のことを考える上で、大事な情報を提供してくれている。 ・これからの学校教育に役立たせるため、各委員の様々な意見をいただきたい。			
○副会長あいさつ ・平成23年4月に富士市立吉原商業高校から学校改編し、3つの探究科を持つ、かつ、県内で初めて立ち上げた「体育科」ということを旗印に、開校以来9年目を迎えた。 ・昨今は学校が落ち着いていると感じられるが、学校運営協議会の影響が大きい。 ・現在、3年生が就職、進学のための試験の最中であり、3年間の探究学習の集大成として、その真価を問われている。 ・来る10月5日の土曜日は、学校開放日ということで、中学生及びその保護者、地域住民に来校してもらい、探究発表会を行っている。委員各位には、当日来校し、本校の探究学習の成果をみてほしい。			

授業参観	
授業に関する質疑応答	
(質問・意見等)	・富士市立高校の生徒は、授業参観で人が教室に入ってきてても気にせず、授業に集中できていた。富士市立高校の先生の日ごろの学習指導の成果だと思う。
(質問・意見等)	・富士市立高校の多くの先生が、ICTを授業で日常的に使用していて、生徒も使い方に慣れている。
(質問・意見等)	・授業の最後に今日何を学んだのかということについて、生徒に確認をさせていた。授業で学んだことを最後にきちんと確認する行為は、確かな学力をつけるため有効な手立てだと思う。
(質問・意見等)	・授業中に先生が授業で難しい説明をしたときに、その内容が理解できない生徒が隣の生徒に「今の話し分かった？」と、確認している光景を見た。生徒同士で理解を確認しあうことができるという関係性があるということは、素晴らしいことだと思う。分からないことを安心して聞ける良好な人間関係があるのはよい。
(質問・意見等)	・授業のやり方としては、もっと対話があったほうが良いと思う。授業中、生徒が受身になっている印象が強かった。もう少し生徒同士が話をする時間があれば、もっといいのではないかなと思う。
(質問・意見等)	・生徒が「自分は、きっと英語をマスターすることができると思う。」という気持ちになれるような魅力的な授業を先生方がすることにより市立高校の生徒は可能性が広がると思う。
(質問・意見等)	・市立高校の授業は、本当に対話的な授業であり、こんなに面白い授業になっているのかという雰囲気に関心した。
(質問・意見等)	・英語の授業で先生がネイティブ・スピーカーのような発音で驚いた。
(質問・意見等)	・国語と英語で朝テストを行っているようであるが、月に何回くらい朝テストをやって、どのように行っているのか？
(回答)	・朝テストは国語と英語で実施し、テスト問題の作成は教科担当で行っている。生徒全員に取り組みせており、基本は平常点として成績にも反映させている。教科によっても取り組み方は異なるが、2学年の場合は、英語に関しては、英語科の先生方が合格できる水準ではなかった生徒については追試、課題を課している。国語については、教科としてのペナルティはなく、成績が芳しくないクラスについては、話をしたり、勉強方法等のアドバイスをしている。朝テストは、勉強に取り組んでもらうための手段で、生徒に家庭学習をきちんとやってもらうことが目的である。
(質問・意見等)	・市立高校は設備がすごいと思う。授業もパワーポイントを使って行う授業が多くて驚いた。

(質問・意見等)	・中学校と高校とでは授業のやり方も全く違い、義務教育とそうでない教育との違いかなと感じた。
(質問・意見等)	・理数数学Ⅱが3年生にあり、確かに3年生で実際に就職・進学が迫っているが、この時期に2時間数学の授業をやる必要があるのかと思う。
(質問・意見等)	・センター試験などを受けるクラスで生徒の予習が少し足りないと思う。生徒は、先生が板書している内容を写しているだけという形になっている。生徒にもう少し意識を持たせるようにしたい。
(質問・意見等)	・ICTに関し静岡県は全国2位の設置率となっているものの、その活用に関する教員のアンケート結果では60%台で、全国39位という状況である。市立高校の授業を参観したところ、県内平均と同様6割ぐらいの利用かと思う。県教委の監査では、ICTを設置したら利用率を上げるよう指摘があった。富士市立高校では、ICTの設備がしっかりしているので、十分に活用してほしい。
(質問・意見等)	・3年生の英語の授業で、基本文法がしっかり理解できていない生徒がいた。3年生で文法が修得できていないのは、少し心配である。
(質問・意見等)	・英語の先生方で少し打ち合わせて、この段階ではここまではマスターさせる、あるいは2年生の段階ではこの水準まで行かせようとか、そういったものを決め、順次いろんなところで追い込んで、修得させていくというような、そういう手順で受験に望んでいくべきかと思う。
○学校からの報告	
◇一日体験入学	
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の一日体験入学は8月2日に行い、中学生659人、保護者は231人の参加があった。 ・内容としては、在校生による学科紹介、卒業生による本校在学時の思い出の披露、それぞれの学科ごとの体験授業の見学となっている。 ・来校した中学生に一日体験入学のプログラムについてアンケート調査をしたところ、体験授業、学科紹介、卒業生による高校生活・進路のプログラムに興味を感じていた。 ・アンケート調査で本校に期待していることは何か？という質問に対し、「楽しい高校生活」と回答した中学生、保護者の方が多かった。この「楽しい」という意味は、充実した高校生活ということではないかと考えている。これ以外では、中学生では部活動、海外探究研修、授業に期待があり、一方、保護者は、授業、進路実績となっている。海外探究研修については、保護者と比較して中学生の方が期待の割合が高くなっている。 	
◇本校生徒の進路状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・8月初旬に行われた三者面談終了後の調査では、3年生の234人のうち、4年制大学への進学希望は概ね4割、短大、専門学校への進学希望も概ね4割、就職希望が2割ぐらいということで、例年と比較すると、就職が少し多いという状況である。 ・出願先を見ると、県内の学校を希望している生徒が多い傾向がある。公募制で国公立に出願 	

する生徒は14人いるが、そのうち10人が静岡大学、静岡県立大学及び静岡文化芸術大学となっている。

- ・私立大学への出願は、常葉大学、英和大学等の県内の私立大学を志望している生徒、日本大学の国際関係学部志望の生徒もいるが、関東圏の4年制大学を志望している生徒も多い。
- ・短期大学、専門学校の出願者は、いずれも静岡県内の学校を志望している生徒が多い
- ・AO入試志願者及び推薦入試志願者の予定者を合わせた延べ人数では、4年制大学が92人、短期大学が22人、専門学校が41人となっている。
- ・今年の3年生のセンター試験の出願は、100人が受験を予定している。
- ・来年度以降共通テストという形で現在のセンター試験が変更されるが、1年生・2年生に対しては9月9日に「進路だより」として共通テストについての内容を説明した資料を配付した。
- ・英語の試験に関しては、学校の方針として、7月に実施されるGTECでの受験を推奨することにした。
- ・10月16日は、中間テストの期間を利用し、2年生の全生徒に対し共通IDの申請手続きをさせることにしている。現在就職を希望している生徒も進学に変更となるケースもありうることから、全員に対して共通IDの申請の指導を行いたい。
- ・保護者に対して、2学期の終りに共通テストについての説明会を実施する予定である。

◇部活動の大会結果について

- ・今年度全国高等学校総合体育大会で陸上部、男子400m走、男子400mハードル走、女子400m走、男子400m×4走リレーで出場し、男子400m走及び男子400m×4走リレーで準決勝に進出した。
- ・チアリーダー部は、8月に大阪で行われた全国高等学校ダンスドリル選手権大会のソングリーダー部門に出場した。
- ・吹奏楽部は、静岡県吹奏楽コンクール高等学校の部A編成で銀賞で入賞した。
- ・第74回国民体育大会、今年は茨城県で行われ、サッカー少年男子の部でサッカー部の2年生、陸上では陸上部3年生が出場した。(サッカー少年男子の部は、静岡県優勝)
- ・8月下旬から新人体育大会の地区予選、県大会が行われているが、陸上部ほか多くの部で県大会出場を果たしているが、このうち陸上部は東海大会への出場が決定した。

◇夏季集中研修について

(総合探究科)

- ・総合探究科1年生は、初日は毎年大使館に行っていたが、今年はキャリア教育で有名な法政大学児美川先生の授業受講のため法政大学を訪問することになった。児美川先生の話もあり、また駅前で未来を探すような活動をした。2日目はアクティブラーニングで日本の最先端を行っている産業能率大学に行き、大学の施設のある自由が丘に行って課題解決型のフィールドワークを行った。3日目にはマイナビに行き、探究活動で1つ「ゆるキャラ」を作って発表会をやるなどの相談をした。
- ・2年生は、海外探究研修の事前研修という位置付けで、12月初旬に総合探究科はアメリカ

のボストンを訪問するが、外国人講師10人程度本校に来てもらい、英語で3日間ブラッシュアップするというので、3日間の活動を行った。

- ・3年生は、社会課題探究ツアーということで、これは社会問題などを現場に取り込んでいて、そして実際に現場を見て、どのようにしたら解決できるかという自分たちだけの考えを持って、まとめて、そして発表するという形の活動である。例えばフードロスの問題であったり、地域医療、動物の殺処分などもあるが、実際にその現場に行ってみて、現状を把握して、その問題をどのように解決していこうかと考えて、それをまとめて発表していく、という活動を行った。

(ビジネス探究科)

- ・ビジネス探究科1年生は、企業研修ということで、例年行っている研修となるが、日本航空、あずさ監査法人、東京証券取引所、伊藤忠商事、JTBトラベル&ホテルカレッジ、大学研修で東京各所を巡るという研修を行った。非常に多彩な、また企業も有名な、大きな企業で研修をした。
- ・ビジネス探究科2年生は、12月に海外探究研修で台湾を訪問するので、そのための事前研修として、静岡県立大学中国人留学生による語学研修、校内での調査等を行った。
- ・ビジネス探究科3年生は、富士商工会議所青年部に依頼して、26の企業でインターンシップを行った。

(スポーツ探究科)

- ・スポーツ探究科1年生は、山中湖のメープル・カーリング・クラブで、カーリングを行った。この後、2月にはスキー実習が行われる。スキーとカーリングがセットで野外活動ということで、1年生は活動を行っている。
- ・スポーツ探究科2年生は、山中湖の村営キャンプ場で、2泊3日でキャンプ活動を行った。キャンプの中で、水辺の活動ということで、カヌー体験をした。
- ・スポーツ探究科3年生は1泊2日で、富士登山を行った。日常体験できないスポーツに触れ、大自然が相手なので、十分な準備をしても思うようにいかなかったり、1人ではどうにもならないようなところをみんなで協力したり、日ごろ味わえないような活動と、また新たに気づくことの多い充実した活動になった。

◇前期探究学習発表会・公開授業

- ・「究タイム」の中の「市役所プラン」は、本校の目玉事業として実施している。今年は、9月25日に地域の方、大学の先生方、静岡大学教職大学院の方にも参観してもらい開催した。
- ・市役所プランは、地域協働的な学びということで、富士市内の6地区の課題を見つけて生徒がそれに対して解決のための提案を考える。地区の方に対してその提案をプレゼンテーションするという授業として実施している。
- ・4月から1週間につき2時間の授業として行ってきており、オリエンテーションから始まり、5月には校外学習、6月に生徒たちは自分たちでじっくり考えて、7月に一度中間発表を行う。そこでまた、大学の先生や地域の方にアドバイスをもらい、夏休みに自分たちでもう一度地区に行ってみる。自主的に探究する。そして9月に発表会を実施した。

◇今後の予定

- ・ 10月2日（水）に南稜祭体育部門
- ・ 10月5日（土）に学校開放日。探究学習発表会
- ・ 11月12日（火）i 授業力の向上のためアクティブラーニング授業研究会
- ・ 12月1日（日）～6日（金）に2年生海外探究研修
- ・ 1月24日（金）に健脚大会
- ・ 3月1日（日）に卒業式

学校からの報告について意見交換

(質問・意見等)	Q 英語の朝テストの内容というのはどういうものなのか？例えば英単語で10問出題するとか、英単語の意味を書きなさいとか、そうした内容のテストなのか？
((回答)	A 1年生は英単語のテストをやっている。2年生・3年生は、単語以外にも文法、語法問題集とかを扱ったりするので、出題内容も文法の問題もやっている。このように、学年によって目的を設定して朝テストを行っている。
(質問・意見等)	・朝テストの実施はとてもよいことだと思う。出題する内容も1週間でここまで、更に次の週はここまで、というような形で勉強の習慣ができると、受験を意識するとすれば、そこに向けての積上げができるので、特に英単語などは、例えばTOEICが英単語をこれだけマスターすれば何点レベル、ここまでいけば何点レベルのように、受験の英語も、単語ではここまでマスターする必要があるというものもあるので、そこに向けて一定のレベルを決めて1年生のときから朝テストを組み合わせながら進めていくのが、とてもいいかもしれないと思う。
(質問・意見等)	Q 富士市ではICTの整備についてどのように考えているのか？
((回答)	A 富士市立高校におけるICTを含めた予算要求については、県立高校と違い、この市立高校そのものが課相当ということになっているので、予算の要求は直接することができる。しかし、金額が大きい場合には、総合計画という枠に組み込み、計画的に要求していくことが求められる。また、予算要求を行っても、その年度の富士市の財政状況、他のセクションの予算要望等の絡みがあり、要求すれば必ず認められるというものでもない。しかし、このICTについてはこの6月にICT教育に特化したような形の法律も整備され、県立高校でも整備をしていくという話なので、財政課と協議をしながら来年度予算要求をしていきたい。
(質問・意見等)	Q 富士市立高校の教員は、県の総合教育センターが実施するICT研修に参加できるのか？
((回答)	A 教職員の研修に関し、県と富士市とは協定を締結しているので、自由に研修に応募することができる。
(質問・意見等)	Q 県立高校では、タブレット端末の整備についてどのように考えているのか？
((回答)	A タブレット端末については、整備の順位付けをした上で大規模な学校については80台、小規模な学校については40台整備していくこととしている。
(質問・意見等)	Q スクリーンその他いろいろな機器も経年劣化して壊れて来ている部分もあるの

	で、是非修繕をお願いしたい。
(回答)	A各学年の普通教室及び選択教室のスクリーンとプロジェクタについては11月までに更新する予定である。
(質問・意見等)	Q富士市立高校の進学希望者のうち、4年制大学と短期大学の生徒のうち、AO入試及び推薦入試以外の一般入試を希望している生徒は何割ぐらいいるのか？
(回答)	A市立高校では、先にAO入試又は推薦入試で受験して、これまでの学校での活動を評価してもらって、進路を決めたいという希望が多く、それで残念ながら希望がかなわなかった生徒が一般入試に臨むことが多い。
(質問・意見等)	・富士市立高校で進学を希望している生徒が、できれば是非自分が納得できる大学に進学してほしいと思う。学校としてオープンキャンパスへの参加を積極的に勧めていただきたい。
(質問・意見等)	Q中学生一日体験入への参加者はどこの地区が多いのか？
(回答)	A本校は、どちらかというと富士市の東部に位置しているので、市内東部地区の中学生の割合が高いが、市内全域、市外からの参加者も多い。
(質問・意見等)	・名古屋で「夢ナビ」というものがあり、複数の大学が参加しているが、静岡大学も参加している。相当の広いエリアを使って大学紹介が行われている。大学教授の研究を20分ぐらいで発表する時間があり、高校生はあらかじめどの発表を聞くか選んでおいて、それを聞くことができ、発表が終了した後は、各大学のブースがあり、大学紹介を聞くことができるので、富士市立高校も学校行事として参加を検討したらどうか。
(質問・意見等)	・静岡大学では、工学部、農学部は、オープンキャンパスで約8か所の各研究室を巡ることができる。参加すると、大学の先生がどのような研究をしているのかということに直接触れることができるので、機会として是非利用していただきたい。
次回日程について	
閉会	